

# 平成 30 年度 助産師キャリアアップ応援事業研修実施要項 (中堅・エキスパート助産師)

## I. 研修目的

1. 幅広い視野で助産業務を統合的に実践できる助産師を育成する。
2. 高度産科医療機関や有床助産所で展開されている助産技術、実践的な判断力、指導力を有する助産師を育成する。
3. 滋賀県の地域特性に即した就業助産師の助産実践能力の資質向上を図る。

## II. 研修目標

助産師キャリアアップ研修要綱の目的・目標を踏まえ、研修目的から研修助産師個人が自己のキャリアアップのために必要な課題や具体的目標を示し、自己研鑽することができる。

## III. 研修対象

中 堅 助 産 師 コース：卒後 4 年以上の中堅助産師を対象に、助産技術のレベルアップを図るとともに、施設において自律した助産活動や後輩育成ができることを目指す助産師。

エキスパート助産師コース：臨床経験が 6 年目以上の助産師を対象に、アドバンス助産師取得に必要な、助産師ガイドラインを遵守した助産外来・院内助産の実施を含め自律した助産活動と周産期ハイリスク管理ができることを目指す助産師。

## IV. 研修内容

### 1. 講義・演習

- (1) 最新の高度周産期医療における助産師の役割について
- (2) 助産師の責務について
- (3) 助産師の継続教育について
- (4) 助産師リーダーについて
- (5) フィジカルアセスメント

### 2. 臨床研修

研修は、基本的に自分で組み立てることを支援する。

#### (1) 病院

最新の高度周産期医療における助産業務を把握し、助産技術を習得する。また、院内助産所・助産師外来の運営などを学ぶ。さらに、施設に応じてよりリスクの高い妊産婦の管理、ケアについて学ぶ。

#### (2) 助産所

健康な妊産婦のニーズに応じた家庭的な助産ケア、助産診断を習得する。また、助産所として、妊産婦の正常から異常へと逸脱した場合の周産期病院との連携や調整のあり方を学ぶ。中堅は県内、エキスパートは、県外にて研修を実施予定。

\* 県内の助産院研修は、突然の予定変更などあります。

\* エキスパートコース参加者は、実習中の安全を図る目的で公益社団法人日本助産師会に入会していること。

#### (3) 学術集会の参加

学術集会に 1 回参加すること。参加登録書で確認する。

## V. 説明と承諾

研修受託施設の指導助産師が、対象者に研修内容の説明と協力依頼をおこない、同意を得る。各研修施設においても所定の同意書用紙をもって同意を得る。

## VI. 研修期間

2週間程度

## VII. 研修施設

1. 病院
2. 診療所
3. 助産所（中堅は県内、エキスパートは県外）

## VIII. 研修評価

研修評価は、研修目的の達成状況、レポート、研修発表、研修態度を総合しておこなう。

＊注意点：第1～3回の研修、学術集会は、参加必須である。

レポート提出：テーマ「臨床研修の学びと今後の自己課題」 〆切：2019年2月8日

書式はA4 1枚程度（余白左右上下20mm 文字数40×行数40）

必ず、所属病院、氏名を記載すること。

文字は明朝体で、テーマは12フォント、本文10.5フォント メールでの提出も可。

＊提出先：Mail) E-mail : [yanchan@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:yanchan@belle.shiga-med.ac.jp)

郵送) 〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学医学部附属病院 MFICU 臼井康恵宛

## IX. 研修施設との連絡調整

研修施設の決定や研修施設との連絡調整は、研修コーディネータが行うものとする。

＊注意点：研修施設への交通費は各自自己負担とする。

## X. 研修評価会

1. 原則として研修助産師は、研修施設において研修目標達成に向けての調整や問題解決に向けカンファレンスを必要時おこなう。
2. 研修助産師は、研修終了後研修報告をおこなう。

## XI. 修了証書の交付

全3回の研修を受講、学術集会の参加および臨床研修を修了した者に修了証書を交付する。

### 【研修問い合わせ先】

滋賀県健康医療福祉部健康医療課 医療人材確保係

または

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学医学部附属病院 臼井康恵

077-548-2677

E-mail: [yanchan@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:yanchan@belle.shiga-med.ac.jp)

平成 30 年度 助産師キャリアアップ応援事業研修プログラム（中堅・エキスパート助産師）

	期日	場所	内容
第 1 回	9 月 28 日（金） 10:00～16:00	滋賀医科大学医学部附属病院 3 階 第 3 会議室	9:40～受付 10:00～開講式 10:10～研修会 「滋賀県の周産期医療の現状と課題」 滋賀医科大学産婦人科講座 教授 村上節氏 10:50～研修会「臨床での助産師教育」 高島市民病院 副看護部長 吉岡千晴氏 (昼食) <b>*昼食は各自で準備してください。</b> 13:30～ 研修オリエンテーション ① 研修概要 ② 助産師ラダーについて ③ 自己課題発表 ④ 全体意見交換会
第 2 回	12 月 8 日(土) 10:00～16:30	滋賀医科大学医学部附属病院 4 階 第 4 会議室	9:40～受付 10:00～オンデマンド研修 「助産ケアと倫理」 －助産師に求められる役割 (昼食) <b>*昼食は各自で準備してください。</b> 13:30～16:30 研修会 「フィジカルアセスメント」 滋賀医科大学 臨床看護学講座（母性・助産） 教授 喜多 伸幸氏
<b>学術集会の参加（参加証で評価）</b>			
臨床 研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 研修場所 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 県内、県外の病院・助産所（以下の①～②の研修場所 1 箇所。）</li> </ul> </li> <li>● 研修期間・日数 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 11/26～2/8 の期間.</li> <li>➢ 各自の課題に応じて、10 日間の研修を実施する。</li> <li>➢ なるべく連続した 5 日×2 週間の研修が望ましい。</li> </ul> </li> </ul>		
	11/26～2/8 (土日を除く 10 日間)	① 県内病院	ハイリスク妊娠、分娩管理、NICU 看護ケア、 ハイリスク妊産褥婦ケア、 院内助産・助産師外来、出産準備教室 妊産褥婦ケア、各種健康支援教室、後輩育成
		② 助産所（県内、県外）	自宅出産・助産院における助産ケア、 健康診査
第 3 回	2 月 16 日（土） 10:00～16:00	滋賀医科大学医学部附属病院 3 階 第 3 会議室	9:40～受付 10:00～合同評価会 自己課題の達成度の評価 中堅助産師研修報告発表 12:00～まとめ (昼食) <b>*昼食は各自で準備してください</b> 13:30～基調講演 「求められている助産師のスキルとは」 講師 調整中 15:30～閉講式

